

# 全国選抜ジュニアテニス選手権大会観戦記

爽やかな新緑と本年もテニスコート周辺に見事に咲いた満開のバラの中、開会式が開催され、大会が始まりました。

津幡ジュニアから5年連続の出場となり、齊藤貴史君はU12の部で2年連続、U14の部で昨年に引き続いて4年連続の出場です。昨年から日本テニス協会のジュニアナショナルチームの一員として着実に実力をつけ、期待通りの戦いでした。決勝まで圧倒的な強さで応援者の私たちに安心感を与えてくれました。

決勝は予想通り第1シードの東海地区代表の西岡選手、永年の良きライバルです。スコアこそ2-6、3-6での敗戦でしたがとても見ごたえのあるラリーが続き、どちらに軍配があがってもよいくばらしい内容でした。この試合は優勝者が世界ジュニアの代表に選出されるというプレッシャーに勝てた西岡君に一日の長があったと思います。優勝は逃したものの、立派に第2シードを守った貴史君は大いに称讃されます。そして2人が良きライバルとして今後日本のテニス界を支える逸材に成長してほしいとエールを贈りたい試合でした。



齊藤貴史君



玄田紗也果さん

玄田紗也果さんは最近実力もつき、1回戦突破して本大会第1シードの小和瀬選手との対戦を目指しましたが、6-3、2-6、6-7のフルセットで長い試合の末に東海地区代表の古崎選手に惜敗しました。フィードインコンソレーション1回戦勝利し、2回戦は九州代表の園田選手に2-6、4-6で敗れました。次の全日本ジュニア、全国中学生テニスに期待したいと思います。

妹の夏楠さんは貴史君、沙也果さんたちとの練習相手にも恵まれ、昨年の U12 の部で優勝の栄冠を手にし、本大会は大いに期待されていました。1 回戦突破できれば、波に乗りベスト 4 までの目標にむかって、臨みました。大会前の怪我もあり、ミスも出て、1 回戦では第 5 シードの関西地区代表の山本選手には 1-6、2-6 と残念ながら実力を発揮できませんでした。フィードインコンソレーション 1 回戦は突破しましたが、2 回戦敗退となりました。12 歳から 14 歳への壁は厚いですが、来年はきっと大きく成長し、世界ジュニアの代表をめざして頑張ってくれることでしょう。



玄田夏楠さん

表彰式は寛仁親王ご臨席のもと、全国ブラスバンドで有名な柏高校の演奏の中、厳粛に開催されました。3 年続けて表彰式に臨むことができ、ともに感激しました。

報告書作成中にワールドジュニアテニス世界大会の代表選出のニュースが入りました。念願の大きな夢が実現しました。TTC の吉田理事長や吉田和子さん（旧姓沢松和子）、日本テニス協会の方々から、他の選手のほとんどが倶楽部テニス出身であるのに、本大会には 5 年連続して地方の津幡ジュニアから北信越の代表として出場し活躍していることに、驚き



と称讃の声が大きく、たいへん嬉しい思いをしました。津幡町で協会設立し 31 年目、津幡ジュニア 13 年目、子どもたちの努力と津幡ジュニアをサポートして頂いている津幡町、津幡町教育委員会、協会の皆さんに感謝申し上げます、あらためて津幡町のスポーツへの理解と全国大会出場の補助金制度に御礼申し上げます。最後にジュニアを育てようと言い出した故問谷武洋氏（石川高専教授）の先見性にあらためて敬意を表します。

（文責：前田猛夫 09, 5, 31）